

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●四位洋文騎手の引退式を阪神競馬場で実施

2020年度の新規調教師免許試験に合格し、今春限りでの騎手引退を予定している四位洋文騎手(栗東・フリー)の引退式が、2月29日(土)の1回阪神1日の最終レース終了後(16時35分頃)、ウイナーズサークルにて実施されることとなりました。

●武豊騎手が国際騎手招待競走に出場

2月28日(金)、サウジアラビアのキングアブドゥルアジーズ競馬場にて行われる「STCインターナショナルジョッキーズチャレンジ」に武豊騎手(栗東・フリー)が出場することとなりました。本シリーズ(計4競走)には世界各国から男性騎手7名、女性騎手7名が参加し、着順に応じて獲得できるポイントの合計点で個人表彰を競います。なお藤田菜七子騎手(美浦・根本康広厩舎)も出場する予定でしたが、2月15日(土)の1回小倉9日・第5レースで落馬負傷したため、回避する見込みです。

●高市調教師が逝去

2月17日(月)、高市圭二調教師(美浦)が逝去されました。高市調教師は騎手時代に702戦25勝の成績をあげ、調教助手を経て1996年に調教師免許を取得。帝王賞(G I)や東京大賞典(G I)を勝ったファストフレンド、中山大障害(J・G I)を制して昨年のJRA賞最優秀障害馬に輝いたシンゲンマイケルを手がけるなど、調教師としてはJRA通算4968戦299勝・地方135戦21勝の成績を残しました。なお高市調教師の全管理馬38頭は、大江原哲調教師(美浦)に馬房の臨時貸付(20馬房)を行ったうえで転厩となっています。

●ルックトゥワイスとオウケンビリーヴの競走馬登録抹消

2019年目黒記念(G II)の勝ち馬ルックトゥワイス(牡7歳/栗東・藤原英昭厩舎)は、2月19日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績21戦6勝で、今後は乗馬となる予定ですが先行は未定です。2018年クラスターC(盛岡・Jpn III)の勝ち馬オウケンビリーヴ(牝7歳/美浦・和田勇介厩舎)も、2月19日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績24戦5勝・地方3戦1勝で、今後は北海道安平町のノーザンファームで繁殖馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●共同通信杯(東京)に出走した川崎のエンは7着

共同通信杯(G III、2月16日、東京)に挑んだエン(川崎)は、2番手追走から4コーナーで先頭に並んだものの、その後失速して9頭立ての7着に終わっています。

●大井のナリタスターワンがオーシャンS(中山)に登録

夕刊フジ賞オーシャンS(G III、3月7日、中山、2着以内は高松宮記念の優先出走)に、ナリタスターワン(大井)が登録しました。JRA在籍時に芝で4勝、G III 2着の実績はありますが、昨年のオーシャンS 13着から、現状では厳しそうです。

●ユングフラウ賞はレイチェルウーズ(船橋)【各地の主要3歳重賞】

ユングフラウ賞(2月19日、浦和、1400m、牝馬)は、好位の内を込んだ単勝1.5倍で断然人気の東京2歳優駿牝馬の覇者レイチェルウーズ(父ヘニーヒューズ)が直線に入って間もなく抜け出し、デビュー以来の連勝を5に伸ばしました。園田ユースC(2月19日、園田、1400m)は、逃げたステラモナーク(牝、父エスポワールシチー)が後続を6馬身引き離し、単勝1.4倍の支持に応じて園田クイーンセレクションに続く重賞2連勝を果たしています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1香港ゴールドC～タイムワープが逃げ切る

2月16日に香港のシャティン競馬場で行われたG1香港ゴールドC(3歳上、芝2000m)は6番人気(単勝26.95倍)の伏兵タイムワープ(騾7歳、父アーキベンコ、A.クルーズ厩舎)がJ.モレイラ騎手を背に逃げ切り勝ち。同じクルーズ厩舎の所属馬で、単勝1.2倍の圧倒的な1番人気に推されたエグザルタントは後方からの追い上げ及ばず3/4馬身差の2着に終わりました。勝ったタイムワープはこれが2018年11月のG3レディースパース(芝1800m)以来となる白星。G1は2017年の香港C(芝2000m)、そして2018年のこのレースに続く3勝目です。

●ビューティージェネレーションが3連覇でG1・8勝目

上記G1香港ゴールドCの2レース後に行われたG1クイーンズシルバージュビリーC(3歳上、芝1400m)はZ.パートン騎手が手綱を取った1番人気(単勝1.65倍)のビューティージェネレーション(騾7歳、父ロードトゥロック、J.ムーア厩舎)が中団待機から直線で差し脚を伸ばすと、最後は2着のカーインスターに半馬身差をつけて優勝。このレース3連覇を果たし、8つ目のG1タイトルを手中にしました。